

安倍政権の暴走から

くらしと福祉、平和を守る相模原へ日本共産党

はにうだ学プロフィール▼1979年大阪に生まれ、滋賀県で育つ。滋賀県立八幡工業高校卒業。漫画家をめざし、スーパリーの鮮魚売り場でアルバイトをしながら生活。調理師免許も持つ。民青同盟で青年の雇用と平和を守る運動にとりくむ。2015年統一地方選挙で初当選。現在、市民文教委員会、基地対策特別委員会。趣味は読書と映画、美術鑑賞。南区上鶴間に在住。



39歳

Facebook Twitter 羽生田がく 検索

羽生田がく

相模原市議会議員

はにうだ学

「市民アンケート」へのご協力
ありがとうございました



昨年、日本共産党相模原市議団が実施した「市民アンケート」に、2400通を超える回答が寄せられました。12月21日には、アンケートの結果などをまとめた要望書を市長に提出し、市民の願いが市政運営に反映するよう求めました。

住むほどに好きになる相模原へ

議員として市民のみなさんの願い実現にむけて、4年間取りくんできました。「働き方を改善してほしい」という願いに応え、労働者の権利やブラック企業の啓発に市が取りくみ、また高齢者の働き方ではシルバー人材センターでの最低賃金以下で働いている現状を改善することを求めてきました。不登校の問題など学びを保障していくためのフリースクールへの支援や、夜間中学設置の取りくみは、市がニーズ調査を開始しています。

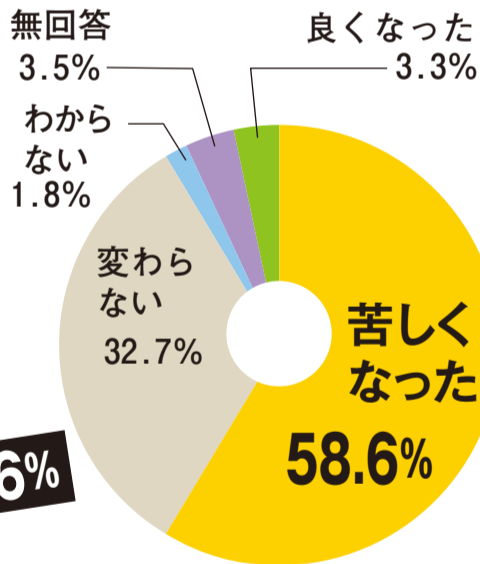
私は、一人ひとりが大切にされる相模原をめざします。市民生活を壊す消費税10%増税、憲法9条改憲と安倍政権をストップさせるために全力でがんばります。

羽生田がく市議とともに
住みよい相模原へがんばります



県議会議員
藤井かつひこ

「生活が苦しくなった」
あなたの毎日のくらし向きは



「生活が苦しくなった」ことの理由では、①年金の減少、②医療や介護の支出増、③税金の負担増、④給与の減少、⑤保育・教育の支出増をあげており、国の悪政や市政による負担増が市民生活を苦しめていることが明らかになっています。

新しい市議会で

引き続き力を尽くします

◆くらし応援

- 国民健康保険税1人1万円引き下げ
- 介護保険料、利用料の負担軽減
- 若い世代向け家賃補助制度の創設

◆子育て支援、教育の充実

- 保育所、児童クラブの待機児解消
- 小児医療費助成制度の所得制限・一部負担金廃止
- 小中学校の特別教室・体育館へのエアコン設置
- 少人数学級の推進
- あたたかくておいしい、全員喫食の中学校給食

◆防災・減災の取り組み強化

- 道路や橋、トンネルなどの老朽化・耐震化対策推進
- 「ひばり放送」の戸別受信機の早期導入
- 境川の早期改修

◆基地・平和

- 相模総合補給廠のミサイル部隊司令部撤退
- 米軍機、ヘリの爆音被害解消
- 日米地位協定の見直し
- 米軍基地の早期全面返還

◆まちづくり

- バス路線の充実
- コミュニティバス、乗合タクシーの導入促進
- 高齢者向けお出かけ支援制度(バス代補助等)の創設
- リニア建設中止、広域交流拠点整備計画の見直し